

対象校No.

注4

学校コード F135210110061

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

下関市立大学 看護学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

公立大学法人下関市立大学  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営企画部企画課
職名・氏名	シュサ カワサキ ユキコ 主査 河崎 由紀子
電話番号	083-254-8707 (内線305)
(夜間)	083-252-0288
e-mail	<a href="mailto:shingakubu@shimonoseki-cu.ac.jp">shingakubu@shimonoseki-cu.ac.jp</a>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人下関市立大学

## (2) 大学名

下関市立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒751-8510

山口県下関市大学町二丁目1番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミキ ジュンイチ) 三木 潤一 (令和6年4月)		
学長	(ハン チャンワン) 韓 昌完 (令和4年4月)		
学部長	(ナカシマ エミコ) 中嶋 恵美子 (令和7年4月)		
学科長等	(ツカハラ ヒトミ) 塚原 ひとみ (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人		

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	80人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-			
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	389 ( ) [ ]	( ) [ ]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳	1.02倍	-	
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	250 ( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	83 ( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	82 ( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.02	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	82 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員等(助手)以外
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育	外国語	英語 I a	1前	2								1
		英語 I b	1前	2								1
		中国語L	1前		2							1
		韓国語L	1前		2							1
		ドイツ語L	1前		2							1
		フランス語L	1前		2							1
		英語 I c	1後	2								1
		英語 I d	1後	2								1
		中国語M	1後		2							1
		韓国語M	1後		2							1
		ドイツ語M	1後		2							1
		フランス語M	1後		2							1
		英語 II a	2前		2							1
		英語 II b	2前		2							1
	英語 II c	2後		2							1	
	英語 II d	2後		2							1	
	小計(16科目)	—	—	8	24		0	0	0	0	0	6
	情報・数理	コンピュータ科学	1前		2							1
		数学入門	1前		2							1
		統計入門	1前		2							1
コンピュータ活用 I		1後		2							1	
情報リテラシー		1後		2							1	
コンピュータ活用 II		2前		2							1	
プログラミング		2前		2							1	
メディア論		2前		2							1	
小計(8科目)	—	—	16							5		
初年次教育	アカデミックリテラシー	1前		1							4	
	基礎演習	1後		2							2	
	小計(2科目)	—	—	3							6	
教養教育	リベラルアーツ	倫理	1前		2							1
		文学	1前		2							1
		芸術	1前		2							1
		心理学概論	1前		2							1
		日本史概論	1前		2							1
		西洋史概論	1前		2							1
		人文地理学概論	1前		2							1
		哲学概論	1後		2							1
		東洋史概論	1後		2							1
	小計(9科目)	—	—	18		0	0	0	0	0	8	
	社会科学	社会	1前		2							1
		生命保険概論	1前		2							1
		経営学	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		政治	1後		2							1
		アントレプレナーシップ	1後		2							1
		教育学	1後		2							1
	小計(7科目)	—	—	14		0	0	0	0	0	7	
	自然科学	自然の法則	1前		2							1
		生命と生態	1前		2							1
教養統計		1前		2							1	
人間と物質		1後		2							1	
宇宙と地球		1後		2							1	
科学技術史		1後		2							1	
自然地理学概論		1後		2							1	
教養数学		1後		2							1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	6		
生命・健康科学	健康と運動	1前		2							1	
	健康と生活習慣	1前		2	1				1		1	
	スポーツ実践A	1前		1							1	
	健康と栄養	1後		2							1	
	脳と認知	1後		2							1	
	スポーツ実践B	1後		1							1	
	小計(6科目)	—	—	10	1				1		3	
人権・共生	福祉	1前		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
	ダイバーシティ	1前		2							1	
	異文化交流	1前		2							1	
	人権	1後		2							1	
	法学総論	1後		2							1	
	多様性と障害理解	1後		2							1	
	多文化共生	1後		2							1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	5		

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員等(助手)以外
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育	外国語	英語 I a	1前	2								1
		英語 I b	1前	2								1
		中国語L	1前		2							1
		韓国語L	1前		2							1
		ドイツ語L	1前		2							1
		フランス語L	1前		2							1
		英語 I c	1後	2								1
		英語 I d	1後	2								1
		中国語M	1後		2							1
		韓国語M	1後		2							1
		ドイツ語M	1後		2							1
		フランス語M	1後		2							1
		英語 II a	2前		2							1
		英語 II b	2前		2							1
	英語 II c	2後		2							1	
	英語 II d	2後		2							1	
	小計(16科目)	—	—	8	24		0	0	0	0	0	6
	情報・数理	コンピュータ科学	1前		2							1
		数学入門	1前		2							1
		統計入門	1前		2							1
コンピュータ活用 I		1後		2							1	
情報リテラシー		1後		2							1	
コンピュータ活用 II		2前		2							1	
プログラミング		2前		2							1	
メディア論		2前		2							1	
小計(8科目)	—	—	16							5		
初年次教育	アカデミックリテラシー	1前		1							4	
	基礎演習	1後		2							2	
	小計(2科目)	—	—	3							6	
教養教育	リベラルアーツ	倫理	1前		2							1
		文学	1前		2							1
		芸術	1前		2							1
		心理学概論	1前		2							1
		日本史概論	1前		2							1
		西洋史概論	1前		2							1
		人文地理学概論	1前		2							1
		哲学概論	1後		2							1
		東洋史概論	1後		2							1
	小計(9科目)	—	—	18		0	0	0	0	0	8	
	社会科学	社会	1前		2							1
		生命保険概論	1前		2							1
		経営学	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		政治	1後		2							1
		アントレプレナーシップ	1後		2							1
		教育学	1後		2							1
	小計(7科目)	—	—	14		0	0	0	0	0	7	
	自然科学	自然の法則	1前		2							1
		生命と生態	1前		2							1
教養統計		1前		2							1	
人間と物質		1後		2							1	
宇宙と地球		1後		2							1	
科学技術史		1後		2							1	
自然地理学概論		1後		2							1	
教養数学		1後		2							1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	6		
生命・健康科学	健康と運動	1前		2							1	
	健康と生活習慣	1前		2	1				1		1	
	スポーツ実践A	1前		1							1	
	健康と栄養	1後		2							1	
	脳と認知	1後		2							1	
	スポーツ実践B	1後		1							1	
	小計(6科目)	—	—	10	1				1		3	
人権・共生	福祉	1前		2							1	
	日本国憲法	1前		2							1	
	ダイバーシティ	1前		2							1	
	異文化交流	1前		2							1	
	人権	1後		2							1	
	法学総論	1後		2							1	
	多様性と障害理解	1後		2							1	
	多文化共生	1後		2							1	
小計(8科目)	—	—	16		0	0	0	0	0	5		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員等(1人1手)
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教養教育	下関学	下関の産業とみらい	1前		2							1
		下関の観光	1後		2							1
		PBL	1後		2							1
		小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	3
	キャリア教	キャリアデザインA	1前		1							1
		キャリアデザインB	1後		2							1
		キャリアデザインC	2後		2							1
		小計(3科目)	—	—	9		0	0	0	0	0	1
	外国研修	外国研修(英語)	1後・2前		2							1
		外国研修(中国語)	1後・2前		2							1
		外国研修(韓国語)	1後・2前		2							1
		小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	3
専門基礎教育	スタートアップゼミ	1前	○	1		8	6	8				
	人体の構造と機能 I	1前	○	2		1						
	公衆衛生学	1前	○	2							1	
	人体の構造と機能 II	1後	○	2		1						
	薬理学	1後	○	2							1	
	栄養と代謝	1後	○	2							2	
	臨床病態学 I (病理学、微生物学)	1後	○	2		1						
	臨床病態学 II (臨床神経、呼吸器、循環器)	1後	○	2		1						
	看護情報学	2前	○	1							1	
	看護情報学	2前	○	2		1						
	看護情報学	2前	○	2		1						
	保健医療福祉行政論	2後	○	2							1	
	多職種連携論	2後	○	1		2	2					
	疫学・保健統計	3前		2							1	
小計(14科目)	—	—	23	2	8	6	8			6		
専門教育	看護学概論	1前	○	2		1						
	コミュニケーション論	1前		1		1						
	ケアリング	1前		1		1						
	生活援助技術	1後	○	2		2	2	3	2			
	ヘルスプロモーション	1後		1		1						
	ナーシングキャリアデザイン	1後		1		1						
	ヘルスアセスメント	2前	○	2		2	2	3	2			
	看護過程	2前	○	1		1	1	3	1			
	看護倫理	2前	○	1		1						
	基礎看護学実習 I	2前	○	1		2	2	3	12	2		
	診療援助技術	2後	○	2		2	2	3	2			
	基礎看護学実習 II	2後	○	2		2	2	3	12	2		
	総合看護技術演習	3前	○	1		8	6	8	14	2		
	看護理論	4後		1		1						
小計(14科目)	—	—	14	5	8	6	8	14	2			
臨床看護	ライフステージとヘルスケア概論 I	2前	○	2		2						
	老年ヘルスケア方法論 I	2前	○	1		1		1	2	1		
	成人ヘルスケア方法論 I	2後	○	2		1	1	1	2	1		
	老年ヘルスケア方法論 II	2後	○	2		1		1	2	1		
	成人ヘルスケア方法論 II	3前	○	2		1	1	1	2	1		
	成人ヘルスケア実習 I	3後	○	2		1	1		2	1		
	成人ヘルスケア実習 II	3後	○	2		1		1	2	1		
	老年ヘルスケア実習 I	3後	○	2		1		1	4	1		
	老年ヘルスケア実習 II	3後	○	2		1		1	4	1		
	がん看護	4後	○	1		1						
	リハビリテーション看護	4後		1		1						
	エンドオブライフケア	4後		1		1						
	救急看護	4後		1		1			1			
	感染看護	4後		1		1			1			
小計(14科目)	—	—	18	4	2	2	2	8	2			
子どもと家族の看護	ライフステージとヘルスケア概論 II	2前	○	2		1	1					
	小児ヘルスケア方法論 I	2後	○	1		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア方法論 I	2後	○	1		2	1	1				
	小児ヘルスケア方法論 II	3前	○	2		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア方法論 II	3前	○	2		2	1	1				
	学校保健	3前		2				1				
	養護概説	3前		2				1				
	健康相談活動	3前		2				1				
	小児ヘルスケア実習	3後	○	2		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア実習	3後	○	2		2	1	1				
	家族看護学	4後	○	1				1				
小計(11科目)	—	—	13	6	1	2	3	3				

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員等(1人1手)
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教養教育	下関学	下関の産業とみらい	1前		2							1
		下関の観光	1後		2							1
		PBL	1後		2							3
		小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	5
	キャリア教	キャリアデザインA	1前		1							1
		キャリアデザインB	1後		2							1
		キャリアデザインC	2後		2							1
		小計(3科目)	—	—	9		0	0	0	0	0	1
	外国研修	外国研修(英語)	1後・2前		2							1
		外国研修(中国語)	1後・2前		2							1
		外国研修(韓国語)	1後・2前		2							1
		小計(3科目)	—	—	6		0	0	0	0	0	3
専門基礎教育	スタートアップゼミ	1前	○	1		8	5	9				
	人体の構造と機能 I	1前	○	2		1						
	公衆衛生学	1前	○	2							1	
	人体の構造と機能 II	1後	○	2		1						
	薬理学	1後	○	2							1	
	栄養と代謝	1後	○	2							2	
	臨床病態学 I (病理学、微生物学)	1後	○	2		1						
	臨床病態学 II (臨床神経、呼吸器、循環器)	1後	○	2		1						
	看護情報学	2前	○	1							1	
	看護情報学	2前	○	2		1						
	看護情報学	2前	○	2		1						
	保健医療福祉行政論	2後	○	2							1	
	多職種連携論	2後	○	1		2	2					
	疫学・保健統計	3前		2							1	
小計(14科目)	—	—	23	2	8	5	9			6		
専門教育	看護学概論	1前	○	2		1						
	コミュニケーション論	1前		1		1						
	ケアリング	1前		1		1						
	生活援助技術	1後	○	2		2	2	3	2			
	ヘルスプロモーション	1後		1		1			1			
	ナーシングキャリアデザイン	1後		1		1						
	ヘルスアセスメント	2前	○	2		2	2	3	2			
	看護過程	2前	○	1		1	1	3	1			
	看護倫理	2前	○	1		1						
	基礎看護学実習 I	2前	○	1		2	2	3	12	2		
	診療援助技術	2後	○	2		2	2	3	2			
	基礎看護学実習 II	2後	○	2		2	2	3	12	2		
	総合看護技術演習	3前	○	1		8	5	9	14	2		
	看護理論	4後		1		1						
小計(14科目)	—	—	14	5	8	5	9	14	2			
臨床看護	ライフステージとヘルスケア概論 II	2前	○	2		2						
	老年ヘルスケア方法論 I	2前	○	1		1		1	2	1		
	成人ヘルスケア方法論 I	2後	○	2		1	1	1	2	1		
	老年ヘルスケア方法論 II	2後	○	2		1		1	2	1		
	成人ヘルスケア方法論 II	3前	○	2		1	1	1	2	1		
	成人ヘルスケア実習 I	3後	○	2		1	1		2	1		
	成人ヘルスケア実習 II	3後	○	2		1		1	2	1		
	老年ヘルスケア実習 I	3後	○	2		1		1	4	1		
	老年ヘルスケア実習 II	3後	○	2		1		1	4	1		
	がん看護	4後	○	1		1						
	リハビリテーション看護	4後		1		1						
	エンドオブライフケア	4後		1		1						
	救急看護	4後		1		1			1			
	感染看護	4後		1		1			1			
小計(14科目)	—	—	18	4	2	2	2	8	2			
子どもと家族の看護	ライフステージとヘルスケア概論 II	2前	○	2		1	1					
	小児ヘルスケア方法論 I	2後	○	1		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア方法論 I	2後	○	1		2	1	1				
	小児ヘルスケア方法論 II	3前	○	2		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア方法論 II	3前	○	2		2	1	1				
	学校保健	3前		2				1				
	養護概説	3前		2				1				
	健康相談活動	3前		2				1				
	小児ヘルスケア実習	3後	○	2		1		1	2			
	ウイメンズヘルスケア実習	3後	○	2		2	1	1				
	家族看護学	4後	○	1				1				
小計(11科目)	—	—	13	6	1	2	3	3				

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外の教員(助手)の手数	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門教育	地域看護	暮らしと地域を知る実習	1後	○	1			1	1		13	2	
		精神ヘルスケア概論	2前	○	1			1					
		地域・在宅ヘルスケア概論	2前	○	1			1					
		公衆衛生看護学概論	2前	○	2			1					
		精神ヘルスケア方法論Ⅰ	2後	○	1			1					
		地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ	2後	○	1			1	1		2		
		健康行動科学入門	2後			1							1
		健康行動科学方法論	2後			1		1					
		公衆衛生看護活動Ⅰ	2後			2		1					
		精神ヘルスケア方法論Ⅱ	3前	○	2			1	1	1			
		地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ	3前	○	2			1	1		2		
		公衆衛生看護活動Ⅱ	3前			1		1			2		
		公衆衛生看護活動Ⅲ	3前			1							1
		精神ヘルスケア実習	3後	○	2			1	1	1			
地域・在宅ヘルスケア実習	4前	○	2			1	1		2				
公衆衛生看護学実習	4前			5		1			2				
健康政策論	4後			1					1				
小計(17科目)	—	—	—	15	12		3	1	1	13	2	1	
看護の統合	看護の統合	看護管理と医療安全	2後	○	2			1					
		看護研究入門	3前	○	1			1					
		多職種連携実習	3後	○	1				4	5	12	2	
		看護の統合実習	4前	○	2			8	6	8	1		
		看護研究演習	4通	○	2			9	6	9			
		情報通信技術と看護	4後	○	1			5					
		災害看護	4後	○	1				1				
		国際保健看護学	4後	○	1			1	1				
小計(8科目)	—	—	—	11			9	6	9	13	2		
教育職員免許取得のための科目	教育職員免許取得のための科目	教職論	1前			2						1	
		教育原理・教育課程論	1後			2							2
		教育方法論(ICT活用含む)	2前			2							1
		教育心理学	2前			2							1
		道徳教育	2後			2							1
		生徒指導	2後			2							1
		総合学習の時間及び特別活動の指導	2後			2							1
		教育行政	3前			2							1
		特別支援教育論	3前			2							1
		教育相談	3後			2							1
		教育社会学	3後			2							1
		養護実習	4前			4				1			
		養護実習事前・事後指導	4後			1				1			
		教職実践演習(養護)	4後			2				1			
小計(14科目)	—	—	—	29				1			11		
合計(165科目)	—	—	—	102	163	29	9	6	9	14	2	57	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外の教員(助手)の手数	
				必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門教育	地域看護	暮らしと地域を知る実習	1後	○	1			1	0	1	13	2	
		精神ヘルスケア概論	2前	○	1			1					
		地域・在宅ヘルスケア概論	2前	○	1			1					
		公衆衛生看護学概論	2前	○	2			1					
		精神ヘルスケア方法論Ⅰ	2後	○	1			1					
		地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ	2後	○	1			1	0	1	2		
		健康行動科学入門	2後			1							1
		健康行動科学方法論	2後			1		1					
		公衆衛生看護活動Ⅰ	2後			2		1					
		精神ヘルスケア方法論Ⅱ	3前	○	2			1	1	1			
		地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ	3前	○	2			1	0	1	2		
		公衆衛生看護活動Ⅱ	3前			1		1			2		
		公衆衛生看護活動Ⅲ	3前			1							1
		精神ヘルスケア実習	3後	○	2			1		1	1		
地域・在宅ヘルスケア実習	4前	○	2			1	0	1	2				
公衆衛生看護学実習	4前			5		1			2				
健康政策論	4後			1					1				
小計(17科目)	—	—	—	15	12		3	0	2	13	2	1	
看護の統合	看護の統合	看護管理と医療安全	2後	○	2			1					
		看護研究入門	3前	○	1			1					
		多職種連携実習	3後	○	1				4	5	12	2	
		看護の統合実習	4前	○	2			8	5	9	1		
		看護研究演習	4通	○	2			9	5	10			
		情報通信技術と看護	4後	○	1			5					
		災害看護	4後	○	1				1				
		国際保健看護学	4後	○	1			1	1				
小計(8科目)	—	—	—	11			9	5	10	13	2		
教育職員免許取得のための科目	教育職員免許取得のための科目	教職論	1前			2							1
		教育原理・教育課程論	1後			2							2
		教育方法論(ICT活用含む)	2前			2							1
		教育心理学	2前			2							1
		道徳教育	2後			2							1
		生徒指導	2後			2							1
		総合学習の時間及び特別活動の指導	2後			2							1
		教育行政	3前			2							1
		特別支援教育論	3前			2							1
		教育相談	3後			2							1
		教育社会学	3後			2							1
		養護実習	4前			4				1			
		養護実習事前・事後指導	4後			1				1			
		教職実践演習(養護)	4後			2				1			
小計(14科目)	—	—	—	29				1			11		
合計(165科目)	—	—	—	102	163	29	9	5	10	14	2	59	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」欄は「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。
  - ・ (専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目は認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧がキヨラムを並行して実施している場合は、旧がキヨラムについても記載してください。その場合は、新がキヨラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
  - (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和7年度】**

- ・授業運営上の都合により、教養教育の「教育学」について、配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・学生の学修機会の確保のため、教養教育の「科学技術史」について、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・授業運営上の都合により、教養教育の「健康と運動」について、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・授業運営上の都合により、教養教育の「PBL」について、「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・吉田恭子准教授の就任辞退により、「スタートアップゼミ」「総合看護技術演習」「看護の統合実習」の基幹教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」、「講師8」から「講師9」に、「暮らしと地域を知る実習」「地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ」「地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ」「地域・在宅ヘルスケア実習」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に、「看護研究演習」の基幹教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」、「講師9」から「講師10」に変更（令和7年2月教員審査済）

- (注) 2. (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
  - ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
62 科目	89 科目	14 科目	165 科目	62 科目 [ 0 ]	89 科目 [ 0 ]	14 科目 [ 0 ]	165 科目 [ 0 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{165} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	64,779.28㎡	0㎡	0㎡	64,779.28㎡				
	そ の 他	3,633.4㎡	0㎡	0㎡	3,633.4㎡				
	合 計	68,412.68㎡	0㎡	0㎡	68,412.68㎡				
(2) 校 舎	専 用	26,595.92㎡	0㎡	0㎡	26,595.92㎡				
	( 26,595.92㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 26,595.92㎡)					
(3)教室・教員研究室		教 室	84室	教員研究室	25室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	※報告年度の図書冊数の減少は他学部の図書購入点数の減少のため。(7)	
		[うち外国書]	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル [うち外国書]				
	看護学部	285,718 [35,726] <del>284,961 [35,622]</del> (277,088 [35,242]) <del>(278,857 [35,338])</del>	1,344 [119] <del>1,307 [97]</del> (1,135 [105]) <del>(935 [65])</del>	651 [464] <del>601 [450]</del> (633 [464]) <del>(601 [450])</del>	458 [458] <del>448 [448]</del> (458 [458]) <del>(448 [448])</del>	5,586  (5,553) <del>(5,586)</del>	0  (0)		
	計	285,718 [35,726] <del>284,961 [35,622]</del> (277,088 [35,242]) <del>(278,857 [35,338])</del>	1,344 [119] <del>1,307 [97]</del> (1,135 [105]) <del>(935 [65])</del>	651 [464] <del>601 [450]</del> (633 [464]) <del>(601 [450])</del>	458 [458] <del>448 [448]</del> (458 [458]) <del>(448 [448])</del>	5,586  (5,553) <del>(5,586)</del>	0  (0)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	275.53㎡		0㎡		8116.26㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※開設前年度の設備購入費の減少は、入札残等によるもの。(7)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	45,069千円 <del>61,645千円</del>	42,404千円 <del>47,055千円</del>	46,772千円 <del>47,055千円</del>	
		共同研究費等	2,300千円	2,300千円	設備購入費	259,995千円 <del>324,210千円</del>	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		677千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円		
		818千円	536千円	536千円	536千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		運営交付金、寄附金、雑収入等							

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	下 関 市 立 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
経済学部	4	370	3年次	1680	-	1.10	-	-	昭和37	-	
経済学科	4	155	3年次	716	学士(経済学)	1.08	-	-	昭和37	山口県下関市大学町二丁目1番1号	令和6年度から入学定員変更(195→155)
国際商学科	4	155	3年次	716	学士(商学)	1.13	-	-	昭和58	同上	令和6年度から入学定員変更(195→155)
公共マネジメント学科	4	60	3年次	248	学士(公共マネジメント学)	1.06	-	-	平成23	同上	
データサイエンス学部	4	80	-	160	-	1.04	-	-	令和6	-	令和6年度に学部の設置(認可)
データサイエンス学科	4	80	-	160	学士(データサイエンス)	1.04	-	-	令和6	同上	
看護学部	4	80	-	80	-	1.02	-	-	令和7	-	
看護学科	4	80	-	80	学士(看護)	1.02	-	-	令和7	同上	
大学全体	4	530	3年次	1920	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開採用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主 専)	教授	中嶋 恵美子 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	健康と生活習慣 スタートアップゼミ 看護学概論 コミュニケーション論 ケアリング 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
		塚原 ひとみ ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	スタートアップゼミ 生活援助技術 ナursingキャリアデザイン ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護倫理と医療安全 看護研究入門 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	大倉 英緒 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア概論 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
		梶原 弘平 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ リハビリテーション看護 エンドオブライフケア 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	教授	金岡 麻希 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ がん看護 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
		金田 浩太郎 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	スタートアップゼミ 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 臨床病態学Ⅰ(病理学・微生物学) 臨床病態学Ⅱ(脳神経・呼吸器・循環器) 臨床病態学Ⅲ(消化器・代謝・内分泌・血液・造血器・免疫・アレルギー) 臨床病態学Ⅳ(運動器・腎・泌尿器・皮膚・感覚器) 多職種連携 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	濱田 裕子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅱ 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 看護の統合実習 看護研究演習 国際保健看護学

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基 (主 専)	教授	中嶋 恵美子 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	健康と生活習慣 スタートアップゼミ 看護学概論 コミュニケーション論 ケアリング 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
		塚原 ひとみ ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	スタートアップゼミ 生活援助技術 ナursingキャリアデザイン ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護倫理と医療安全 看護研究入門 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	大倉 英緒 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア概論 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
		梶原 弘平 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ リハビリテーション看護 エンドオブライフケア 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	教授	金岡 麻希 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ がん看護 看護の統合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
		金田 浩太郎 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)	スタートアップゼミ 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 臨床病態学Ⅰ(病理学・微生物学) 臨床病態学Ⅱ(脳神経・呼吸器・循環器) 臨床病態学Ⅲ(消化器・代謝・内分泌・血液・造血器・免疫・アレルギー) 臨床病態学Ⅳ(運動器・腎・泌尿器・皮膚・感覚器) 多職種連携 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	濱田 裕子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)	スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅱ 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 看護の統合実習 看護研究演習 国際保健看護学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	原賀 美紀 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 総合看護技術演習 公衆衛生看護学概論 健康行動科学方法論 公衆衛生看護活動論Ⅰ 公衆衛生看護活動論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 健康政策論 看護の総合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	中島 充代 ( ) <令和8年4月> 博士(看護学)
		総合看護技術演習 精神ヘルスケア概論 精神ヘルスケア方法論Ⅰ 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	石村 美由紀 ( ) <令和7年4月> 修士(人間関係学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅱ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	大谷 良子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ ヘルスプロモーション 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	佐藤 亜紀 ( ) <令和7年4月> 修士(文学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 救急看護 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	末永 陽子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 生活援助技術 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 感染症看護 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習 災害看護
基 (主 専)	准教授	古庄 夏香 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護理論 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	吉田 恭子 ( ) <令和7年4月> 修士(健康福祉学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 基上と地域を結ぶ実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 看護の総合実習 看護研究演習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	教授	原賀 美紀 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 総合看護技術演習 公衆衛生看護学概論 健康行動科学方法論 公衆衛生看護活動論Ⅰ 公衆衛生看護活動論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 健康政策論 看護の総合実習 看護研究演習 情報通信技術と看護
基 (主 専)	教授	中島 充代 ( ) <令和8年4月> 博士(看護学)
		総合看護技術演習 精神ヘルスケア概論 精神ヘルスケア方法論Ⅰ 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	石村 美由紀 ( ) <令和7年4月> 博士(健康福祉学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 総合看護技術演習 ライフステージとヘルスケア概論Ⅱ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	大谷 良子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ ヘルスプロモーション 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	佐藤 亜紀 ( ) <令和7年4月> 修士(文学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 救急看護 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	末永 陽子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 多職種連携 生活援助技術 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 感染症看護 多職種連携実習 看護の総合実習 看護研究演習 災害看護
基 (主 専)	准教授	古庄 夏香 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護理論 看護の総合実習 看護研究演習
基 (主 専)	准教授	吉田 恭子 ( ) <令和7年4月> 修士(健康福祉学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 基上と地域を結ぶ実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 看護の総合実習 看護研究演習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	衛藤 泰秀 <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	鹿嶋 聡子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	佐藤 貴子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 家族看護学 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習 国際保健看護学
基 (主 専)	講師	柴崎 卓己子 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スタートアップゼミ 学校保健 養護概説 健康相談活動 養護実習 養護実習事前・事後指導 看護研究演習 教職実践演習(養護)
基 (主 専)	講師	遠面 千恵子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	服部 智子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	政時(阿保)和美 ( ) <令和7年4月> 修士(保健科学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	吉川 未桜 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	正藤 典雄 ( ) <令和7年5月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	衛藤 泰秀 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	鹿嶋 聡子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	佐藤 貴子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 家族看護学 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習 国際保健看護学
基 (主 専)	講師	柴崎 卓己子 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スタートアップゼミ 学校保健 養護概説 健康相談活動 養護実習 養護実習事前・事後指導 看護研究演習 教職実践演習(養護)
基 (主 専)	講師	遠面 千恵子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	服部 智子 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		スタートアップゼミ 生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	政時(阿保)和美 ( ) <令和7年4月> 修士(保健科学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	講師	吉川 未桜 <令和7年4月> 修士(教育学)
		スタートアップゼミ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	中本 亮 ( ) <令和8年4月> 修士(看護学)
		総合看護技術演習 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	助教	相島 美瑠 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	今澤 美由紀 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	小野 洋二 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	河本 乃里 ( ) <令和7年4月> 博士(健康福祉学)
		健康と生活習慣 生活援助技術 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護管理と医療安全 看護の統合実習
基 (主 専)	助教	田中 陽子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	田淵 靖子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	永末 晶 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習
基 (主 専)	助教	中田 由紀子 ( ) <令和7年4月> 学士(看護学)
		総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅰ 暮らしと地域を知る実習 公衆衛生看護活動Ⅱ 公衆衛生看護学実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	西村 康子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	講師	中本 亮 ( ) <令和8年4月> 修士(看護学)
		総合看護技術演習 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習Ⅱ 多職種連携実習 看護の統合実習 看護研究演習
基 (主 専)	助教	相島 美瑠 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	今澤 美由紀 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	小野 洋二 ( ) <令和7年4月> 博士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	河本 乃里 ( ) <令和7年4月> 博士(健康福祉学)
		健康と生活習慣 生活援助技術 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 看護管理と医療安全 看護の統合実習
基 (主 専)	助教	田中 陽子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習 精神ヘルスケア方法論Ⅱ 精神ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	田淵 靖子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ 地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ 地域・在宅ヘルスケア実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	永末 晶 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		生活援助技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護学実習Ⅰ 診療援助技術 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 暮らしと地域を知る実習
基 (主 専)	助教	中田 由紀子 ( ) <令和7年4月> <b>修士(健康福祉学)</b>
		総合看護技術演習 老年ヘルスケア実習Ⅰ 暮らしと地域を知る実習 公衆衛生看護活動Ⅱ 公衆衛生看護学実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	西村 康子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 老年ヘルスケア方法論Ⅰ 老年ヘルスケア方法論Ⅱ 老年ヘルスケア実習Ⅰ 老年ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	助教	林 薫 <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	原田 美和子 ( ) <令和7年4月> 修士(人間関係学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	松村 友紀子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		総合看護技術演習 産婦人科実習Ⅰ 暮らしと地域を知る実習 公衆衛生看護活動Ⅱ 公衆衛生看護学実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	森口 晴美 ( ) <令和7年4月> 修士(感性学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	安川 夏江 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
その他	教授	岸本 充弘 <令和7年4月> 博士(学術)
		下関の産業とみらい
その他	教授	窪田 和巳 ( ) <令和7年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学 疫学・保健統計
その他	教授	小西 哲也 ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		教職論 教育行政
その他	教授	具地 東明 ( ) <令和7年4月> Ph.D.(認知科学)(仏国)
		フランス語L フランス語M
その他	教授	中林 浩子 ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		アカデミックリテラシー 生徒指導
その他	教授	坂東 幸浩 <令和7年4月> 博士(工学)
		コンピュータ科学
その他	教授	Paul Colliett ( ) <令和7年4月> 修士(心理学)
		英語Ⅰb 英語Ⅰd 英語Ⅱb 英語Ⅱd 外国研修(英語)
その他	教授	Benjamin Garrido ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		外国研修(英語)
その他	教授	松崎 守利 ( ) <令和7年4月> 修士(体育学)
		健康と運動 スポーツ実践A スポーツ実践B

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基 (主 専)	助教	林 薫 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 ウイメンズヘルスケア方法論Ⅰ ウイメンズヘルスケア方法論Ⅱ ウイメンズヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	原田 美和子 ( ) <令和7年4月> 修士(人間関係学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	松村 (安丸) 友紀子 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		総合看護技術演習 産婦人科実習Ⅰ 暮らしと地域を知る実習 公衆衛生看護活動Ⅱ 公衆衛生看護学実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	森口 晴美 ( ) <令和7年4月> 修士(感性学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 小児ヘルスケア方法論Ⅰ 小児ヘルスケア方法論Ⅱ 小児ヘルスケア実習 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
基 (主 専)	助教	安川 夏江 ( ) <令和7年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 総合看護技術演習 成人ヘルスケア方法論Ⅰ 成人ヘルスケア方法論Ⅱ 成人ヘルスケア実習Ⅰ 成人ヘルスケア実習Ⅱ 暮らしと地域を知る実習 多職種連携実習
その他	教授	岸本 充弘 <令和7年4月> 博士(学術)
		下関の産業とみらい
その他	教授	窪田 和巳 ( ) <令和7年4月> 博士(保健学)
		公衆衛生学 疫学・保健統計
その他	教授	小西 哲也 ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		教職論 教育行政
その他	教授	具地 東明 ( ) <令和7年4月> Ph.D.(認知科学)(仏国)
		フランス語L フランス語M
その他	教授	中林 浩子 ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		アカデミックリテラシー PBL 生徒指導
その他	教授	坂東 幸浩 <令和7年4月> 博士(工学)
		コンピュータ科学
その他	教授	Paul Colliett ( ) <令和7年4月> 修士(心理学)
		英語Ⅰb 英語Ⅰd 英語Ⅱb 英語Ⅱd
その他	准教授	Benjamin Garrido ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		外国研修(英語)
その他	教授	松崎 守利 ( ) <令和7年4月> 修士(体育学)
		健康と運動 スポーツ実践A スポーツ実践B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	渡邊 尚孝 ( ) <令和7年4月> 理学修士(カウンセリング研究)
		心理学概論
その他	教授	白濱 成希 ( ) <令和8年4月> 博士(工学)
		プログラミング
その他	准教授	天野 かおり ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		基礎演習 教育学
その他	准教授	石井 良輔 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		経済学
その他	准教授	石川 朝子 ( ) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		アカデミックリテラシー ダイバーシティ 異文化交流 多文化共生 教育社会学
その他	准教授	上野 恵美 ( ) <令和7年4月> 経済学士
		基礎演習 PBL キャリアデザインA キャリアデザインB キャリアデザインC
その他	准教授	呉 香善 ( ) <令和7年4月> 修士(比較社会文化)
		韓国語L 韓国語M 外国研修(韓国語)
その他	准教授	加来 和典 ( ) <令和7年4月> 文学修士
		社会
その他	准教授	金 環智 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		アカデミックリテラシー 脳と認知
その他	准教授	小村 有紀 ( ) <令和7年4月> 修士(経済学)
		福祉
その他	准教授	小柳 真二 ( ) <令和7年4月> 修士(経済学)
		人文地理学概論
その他	准教授	近藤 宏樹 ( ) <令和7年4月> 博士(数理学)
		教養数学
その他	准教授	佐々木 淳 ( ) <令和7年4月> 修士(理学)
		数学入門 統計入門 コンピュータ活用I コンピュータ活用II
その他	准教授	趙 彩尹 ( ) <令和7年4月> 博士(障害科学)
		多様性と障害理解
その他	准教授	高田(山崎) 清美 ( ) <令和7年4月> 修士(心理学)
		英語Ia 英語Ic 英語IIa 英語IIc アカデミックリテラシー 教育相談
その他	准教授	長濱 幸一 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		西洋史概論

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	渡邊 尚孝 ( ) <令和7年4月> 理学修士(カウンセリング研究)
		心理学概論
その他	教授	白濱 成希 ( ) <令和8年4月> 博士(工学)
		プログラミング
その他	准教授	天野 かおり ( ) <令和7年4月> 修士(教育学)
		基礎演習 教育学
その他	准教授	石井 良輔 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		経済学
その他	准教授	石川 朝子 ( ) <令和7年4月> 修士(人間科学)
		アカデミックリテラシー ダイバーシティ 異文化交流 多文化共生 教育社会学
その他	准教授	上野 恵美 ( ) <令和7年4月> <b>修士(経済学)</b>
		基礎演習 PBL キャリアデザインA キャリアデザインB キャリアデザインC
その他	准教授	呉 香善 ( ) <令和7年4月> 修士(比較社会文化)
		韓国語L 韓国語M 外国研修(韓国語)
その他	准教授	加来 和典 ( ) <令和7年4月> 文学修士
		社会
その他	准教授	金 環智 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		アカデミックリテラシー 脳と認知
その他	准教授	小村 有紀 ( ) <令和7年4月> 修士(経済学)
		福祉
その他	准教授	小柳 真二 ( ) <令和7年4月> <b>修士(経済学)</b>
		人文地理学概論
その他	准教授	近藤 宏樹 ( ) <令和7年4月> 博士(数理学)
		教養数学
その他	准教授	佐々木 淳 ( ) <令和7年4月> 修士(理学)
		数学入門 統計入門 コンピュータ活用I コンピュータ活用II
その他	准教授	趙 彩尹 ( ) <令和7年4月> 博士(障害科学)
		多様性と障害理解
その他	准教授	高田(山崎) 清美 ( ) <令和7年4月> 修士(心理学)
		英語Ia 英語Ic 英語IIa 英語IIc アカデミックリテラシー PBL 教育相談
その他	准教授	長濱 幸一 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		西洋史概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	日高 卓朗 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		経営学
その他	准教授	藤井 崇 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		日本史概論
その他	准教授	馬 壽慧 ( ) <令和7年4月> 博士(学術)
		中国語L 中国語M 外国研修(中国語)
その他	准教授	太田(中村)麻美子 ( ) <令和9年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育論
その他	講師	岩端 昭則 ( ) <令和7年4月> 学士(商学)
		生命保険概論
その他	講師	岡本 正康 ( ) <令和7年4月> 修士(芸術学)
		芸術
その他	講師	桐原 隆弘 ( ) <令和7年4月> Dr. Phil. (独国)
		倫理 哲学概論
その他	講師	佐々木 実 ( ) <令和7年4月> 理学博士
		自然の法則 宇宙と地球
その他	講師	高橋 洋 ( ) <令和7年4月> 博士(水産科学)
		生命と生態 人間と物質
その他	講師	田口 寛 ( ) <令和7年4月> 修士(文学)
		文学
その他	講師	中上 裕有樹 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		教養統計 看護情報学
その他	講師	榎垣 宏太 ( ) <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学総論
その他	講師	福田 龍樹 ( ) <令和7年4月> 博士(工学)
		情報リテラシー
その他	講師	松浦 健二 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		薬理学
その他	講師	渡辺 アンゲリカ ( ) <令和7年4月> Staatsexamen für das Lehramt am Gymnasium(独国)
		ドイツ語L ドイツ語M
その他	講師	押川 信久 ( ) <令和7年9月> 博士(文学)
		東洋史概論
その他	講師	小野 章史 ( ) <令和7年9月> 保健学博士
		栄養と代謝
その他	講師	川野 祐二 ( ) <令和7年9月> 修士(経営学)
		科学技術史

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	日高 卓朗 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		経営学
その他	准教授	藤井 崇 ( ) <令和7年4月> 博士(経済学)
		日本史概論
その他	准教授	馬 壽慧 ( ) <令和7年4月> 博士(学術)
		中国語L 中国語M 外国研修(中国語)
その他	准教授	太田(中村)麻美子 ( ) <令和9年4月> 修士(教育学)
		特別支援教育論
その他	講師	岩端 昭則 ( ) <令和7年4月> 学士(商学)
		生命保険概論
その他	講師	岡本 正康 ( ) <令和7年4月> 修士(芸術学)
		芸術
その他	講師	桐原 隆弘 ( ) <令和7年4月> Dr. Phil. (独国)
		倫理 哲学概論
その他	講師	佐々木 実 ( ) <令和7年4月> 理学博士
		自然の法則 宇宙と地球
その他	講師	高橋 洋 ( ) <令和7年4月> 博士(水産科学)
		生命と生態 人間と物質
その他	講師	田口 寛 ( ) <令和7年4月> 修士(文学)
		文学
その他	講師	中上 裕有樹 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		教養統計 看護情報学
その他	講師	榎垣 宏太 ( ) <令和7年4月> 修士(法学)
		日本国憲法 法学総論
その他	講師	福田 龍樹 ( ) <令和7年4月> 博士(工学)
		情報リテラシー
その他	講師	松浦 健二 ( ) <令和7年4月> 博士(医学)
		薬理学
その他	講師	渡辺 アンゲリカ ( ) <令和7年4月> Staatsexamen für das Lehramt am Gymnasium(独国)
		ドイツ語L ドイツ語M
その他	講師	押川 信久 ( ) <令和7年9月> 博士(文学)
		東洋史概論
その他	講師	小野 章史 ( ) <令和7年9月> 保健学博士
		栄養と代謝
その他	講師	川野 祐二 ( ) <令和7年9月> 修士(経営学)
		科学技術史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	北尾 洋二 ( ) <令和7年9月> 学士(社会学)
		メディア論 アントレプレナーシップ
その他	講師	佐久間 良子 ( ) <令和7年9月> 博士(栄養科学)
		栄養と代謝
その他	講師	佐々木 司 ( ) <令和7年9月> 博士(教育学)
		教育原理・教育課程論
その他	講師	静屋 智 ( ) <令和7年9月> 修士(教育学)
		教育原理・教育課程論
その他	講師	宗 建郎 ( ) <令和7年9月> 修士(文学)
		自然地理学概論
その他	講師	西 貴倫 ( ) <令和7年9月> 修士(法学)
		人権
その他	講師	福本 忍 ( ) <令和7年9月> 修士(法学)
		政治
その他	講師	八木 香里 ( ) <令和7年9月> 修士(栄養科学)
		健康と栄養
その他	講師	和田 健實 ( ) <令和7年9月> 商学学士
		下関の観光
その他	講師	栗原 慎二 ( ) <令和8年4月> 博士(学校教育学)
		教育心理学
その他	講師	山田 雅之 ( ) <令和8年4月> 博士(認知科学)
		教育方法論 (ICT活用含む)
その他	講師	秋本 江利子 ( ) <令和8年9月> 看護専門学校
		保健医療福祉行政論
その他	講師	古波蔵 香 ( ) <令和8年9月> 修士(教育学)
		道徳教育
その他	講師	原田 春美 ( ) <令和8年9月> 博士(学術)
		健康行動科学入門 公衆衛生看護活動論Ⅲ
その他	講師	吉岡 一志 ( ) <令和8年9月> 修士(教育学)
		総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	北尾 洋二 ( ) <令和7年9月> 学士(社会学)
		メディア論
その他	講師	岡崎 慎二 ( ) <令和7年9月> 学士(経営学)
		アントレプレナーシップ
その他	講師	佐久間 良子 ( ) <令和7年9月> 博士(栄養科学)
		栄養と代謝
その他	講師	佐々木 司 ( ) <令和7年9月> 博士(教育学)
		教育原理・教育課程論
その他	講師	静屋 智 ( ) <令和7年9月> 修士(教育学)
		教育原理・教育課程論
その他	講師	宗 建郎 ( ) <令和7年9月> 修士(文学)
		自然地理学概論
その他	講師	西 貴倫 ( ) <令和7年9月> 修士(法学)
		人権
その他	講師	福本 忍 ( ) <令和7年9月> 修士(法学)
		政治
その他	講師	八木 香里 ( ) <令和7年9月> 修士(栄養科学)
		健康と栄養
その他	講師	和田 健實 ( ) <令和7年9月> 修士(経営学)
		下関の観光
その他	講師	栗原 慎二 ( ) <令和8年4月> 博士(学校教育学)
		教育心理学
その他	講師	山田 雅之 ( ) <令和8年4月> 博士(認知科学)
		教育方法論 (ICT活用含む)
その他	講師	秋本 江利子 ( ) <令和8年9月> 看護専門学校
		保健医療福祉行政論
その他	講師	古波蔵 香 ( ) <令和8年9月> 修士(教育学)
		道徳教育
その他	講師	原田 春美 ( ) <令和8年9月> 博士(学術)
		健康行動科学入門 公衆衛生看護活動論Ⅲ
その他	講師	吉岡 一志 ( ) <令和8年9月> 修士(教育学)
		総合的な学習の時間及び特別活動の指導法

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。

・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を参照してください。

・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。

・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

・ 記載は、設置認可時又は届出時における大学の設置等に係る届出書類作成の手引の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。

・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、主要授業科目にある「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)

・ 教員がバテカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。

・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・石村美由紀准教授の学位を博士（健康福祉学）に変更
- ・古庄夏香准教授の学位を博士（看護学）に変更
- ・吉田恭子准教授の就任辞退により、「スタートアップゼミ」「総合看護技術演習」「暮らしと地域を知る実習」「地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ」「地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ」「地域・在宅ヘルスケア実習」「看護の統合実習」「看護研究演習」の吉田恭子准教授担当分を正源美穂講師に変更（令和7年2月教員審査済）
- ・中田由紀子助教の学位を修士（健康福祉学）に変更
- ・松村友紀子助教の姓を変更
- ・中林浩子教授に「PBL」を追加
- ・Paul Collett教授の「外国研修（英語）」をBenjamin Garrido准教授に変更
- ・上野恵美准教授の学位を修士（経済学）に変更
- ・小柳真二准教授の学位を博士（経済学）に変更
- ・高田（山崎）清美准教授に「PBL」を追加
- ・川野祐二講師の「科学技術史」の開講時期の変更により、就任年月が令和7年9月から令和7年4月に変更
- ・北尾洋二講師の「アントレプレナーシップ」について岡崎慎二講師に変更
- ・和田健資講師の学位を修士（経済学）に変更

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**

- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります）
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
12	6	9
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(A')	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(B')	助手(B')
9	6	9	14	38	38	2	8	5	9	14	36	36	2
(8)	(6)	(8)	(14)	(36)	(36)	(2)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(C')	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者「基(主専)」及び「基(専)」の計(D')	助手(D')
9	5	10	14	38	38	2	9	5	10	14	38	38	2
[0]	[△1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」(A')欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C) =  $\frac{38}{38} = 100$  %  
 設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在(報告時)の完成年度時の状況(C') =  $\frac{38}{38} = 100$  %  
 設置時の計画(A')

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{2}{36} = 5.55$  %  
 現在(報告時)の状況(B)

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') =  $\frac{2}{2} = 100$  %  
 設置時の計画(A')

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	吉田 恭子	R6.10	必修	スタートアップゼミ	①	R6.10 健康上の理由により就任辞退（7）						
				必修	総合看護技術演習	①							
				必修	暮らしと地域を知る実習	①							
				必修	地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅰ	①							
				必修	地域・在宅ヘルスケア方法論Ⅱ	①							
				必修	地域・在宅ヘルスケア実習	①							
				必修	看護の統合実習	①							
				必修	看護研究演習	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。  
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
							該当なし						
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。  
 （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」              |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」          |

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）											
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{38} = 2.63 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・**定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

吉田恭子准教授の就任辞退に伴い、正源美穂講師を新たに基幹教員として採用し、吉田准教授担当分をそのまま担当することとした（令和7年2月教員審査済）。基幹教員同士の交代であり、研究分野の類似性が高い教員であるため、学生の履修等への影響はないと考える。また、開設前の教員交代であったため、学生への周知は特には行っていない。なお、就任年月は令和7年5月であるが、正源講師が授業を担当する最初の回は「スタートアップゼミ」の第9回目（6月上旬～中旬を予定）のため、就任年月についても影響はない。

(注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時  (令和6年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。  【認可】 遵守事項	アドミッション・ポリシーを踏まえ、適切な入学者選抜を実施した。教育・研究環境の質保証の観点から、適切な定員管理に努めた。(7)  履行中	収容定員の適切な規模については、入学者数等の状況に応じ、不断に検討を行う。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

法人の第3期中期計画において「FDの組織的な実施により教員の資質向上を図るとともに、教員間で情報共有しながら、全学的に授業及び授業支援の改善を推進する」と定め、これに沿った年度計画を毎年策定し実施している。従前はFD委員会が中心となって取り組みを行っていたが、総合大学化を視野に入れて組織を見直し、令和2年度から令和4年度までは教学推進マネジメント会議(議長は学長)がFD活動を担当していた。令和5年度からは、FD・SD委員会を設置し、学長が指名するものが委員長となり、また各学部の副学部長や事務職員が委員となって教職協働のもと取り組みを進めている。

###### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和6年度は、教員4名・職員2名の6名の委員構成で、メール会議を含み、全4回会議を開催した。また、令和7年度については、委員に看護学部教員の教員が加わり、第1回を4月30日に開催した。

###### c 委員会の審議事項等

下関市立大学FD・SD委員会規程(添付1)第2条より

- (1) FD・SD推進に関すること。
- (2) 教員による教育力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (3) 職員の能力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (4) 職員の研修の企画及び実施に関すること。
- (5) その他FD及びSDに関すること。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・授業評価アンケート
- ・新任教員を対象としたFD研修会
- ・著作権に関するFD・SD研修会の開催
- ・合理的配慮に関するFD・SD研修会の開催

b 実施方法

- ・授業評価アンケートについては、毎年学期ごと（7月、1月）に実施している。
- ・月に1回、新規採用の教員を対象としたFD研修会を開催し、本学の目的理念や教育研究活動に関する研修を行い学部間連携を含む教員の資質向上に努めている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートについて、専門演習や受講者が少人数の科目などを除いた科目を対象とし、非常勤教員が実施する科目を含め、全科目において実施した。
- ・令和6年度に着任した新任教員22名に対し計11回の研修会を開催し、教授法や学生指導法などに加えて、教員同士が互いの研究テーマへの理解を深める場を設けた。  
令和7年度に着任した37名についても、同様に研修を実施する予定である。
- ・令和6年度はFD・SD研修として、合理的配慮に関する研修を2回、著作権に関する研修を1回開催し、のべ176名の教職員が参加し知識を深めた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果をもとに、各教員の点検・評価シートに振り返りや改善策等を記入することで、授業改善に活用した。点検・評価シートにアクティブラーニングに関する項目を追加し、全体的な実施状況を確認した。令和6年度春学期開講科目のうち9割以上がアクティブラーニングを実施していることが確認できた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期に学生に対して授業評価アンケートを実施している。令和7年度は7月と1月に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は教員に通知し、教員は「自己・点検評価シート」に課題・自己評価を記入する。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

適切な入学者選抜を実施するべく、進学説明会や高校ガイダンス、大学訪問の受入などを通じて新学部設置について広報活動を行った。また、大学全体のオープンキャンパスに加え、看護学部独自のオープンキャンパス(参加者数:184名)を実施し、学部の説明や個別相談、体験コーナーを設け、看護学部の教育内容等について広報活動を行った。結果として、80名の入学定員に対して389名の志願があり、82名が入学した。

また、開設に向け、設備・備品等の整備や実習先との調整を適切に図り、教育・研究環境を整備した。設置後1か月の履行状況ではあるが、設置の趣旨・目的をおおむね順調に達成していると評価している。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表(予定)時期

・令和7年10月 公表予定

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和7年10月を予定)

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和10年に評価機関(大学教育質保証・評価センター)の評価を受ける予定。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2~3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 下関市立大学FD・SD委員会規程

令和4年12月21日

規程第30号

改正 令和6年1月24日規程第1号  
令和6年3月27日規程第16号  
令和7年2月26日規程第3号

(趣旨)

第1条 この規程は、下関市立大学の教員による教育の体系化と教育力の向上を図り、学生に対する教育の質を高めること（以下「FD」という。）、下関市立大学の職員としての大学事務、教育及び学生支援活動における能力と資質向上を図ること（以下「SD」という。）を目的として設置される下関市立大学FD・SD委員会（以下「委員会」という。）の運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(活動内容)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について活動する。

- (1) FD・SD推進に関すること。
- (2) 教員による教育力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (3) 職員の能力向上を図るための施策の企画及び実施に関すること。
- (4) 職員の研修の企画及び実施に関すること。
- (5) その他FD及びSDに関すること。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 副学部長
- (2) 教養教職副機構長
- (3) 学務部教務課長
- (4) 事務局総務部秘書・人事課長
- (5) その他学長の指名する者

(任期)

第4条 前条第5号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、前条第5号の委員の任期は、指名した学長の任期の終期を超えないものとする。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長を置き、学長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議において議決を要するときは、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 議長は、特に必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(議事録)

第8条 委員会は、会議の議事について議事録を作成し、保管するものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、FDに関することは学務部教務課、SDに関することは事務局総務部秘書・人事課とし、全般事項については共管とする。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、令和4年12月21日から施行する。

2 この規程の施行後初めて指名された第3条第5号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、令和7年3月31日までとする。

附 則(令和6年1月24日規程第1号)

この規程は、令和6年1月24日から施行する。

附 則(令和6年3月27日規程第16号)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第1条及び第2条の規定は、令和6年3月27日から施行する。

附 則(令和7年2月26日規程第3号)

この規程は、令和7年4月1日から施行する。